



平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 丸山製作所

上場取引所 東

コード番号 6316 URL <http://www.maruyama.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾頭 正伸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐藤 達也

TEL 03-3252-2271

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	6,334	27.5	82	—	59	—	△15	—
25年9月期第1四半期	4,967	3.1	△365	—	△323	—	△275	—

(注) 包括利益 26年9月期第1四半期 228百万円 (—%) 25年9月期第1四半期 △27百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年9月期第1四半期	△0.31	—
25年9月期第1四半期	△5.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第1四半期	33,714	13,758	40.8
25年9月期	33,948	13,726	40.4

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 13,758百万円 25年9月期 13,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円銭	
25年9月期	—	—	—	4.00	円銭	4.00
26年9月期	—	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	4.00	円銭	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	15,900	21.6	200	46.4	100	△40.7	60	75.9	1.21
通期	35,200	7.1	1,700	△1.1	1,400	△6.4	850	1.6	17.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期1Q	50,293,328 株	25年9月期	50,293,328 株
② 期末自己株式数	26年9月期1Q	893,182 株	25年9月期	895,962 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期1Q	49,399,451 株	25年9月期1Q	49,399,373 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により、生産は緩やかに増加しており、円安効果などにより企業収益も改善してまいりました。また、個人消費も、消費者マインドがおおむね横ばいとなる中、雇用者所得が底堅く推移していることや、一部に消費税率引上げに伴う駆け込み需要がみられるなど、持ち直してまいりました。一方、海外経済も、アジアの景気拡大テンポが安定しつつあり、米国経済も底堅く推移し、欧州でも持ち直しの兆しがみられました。しかしながら、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動、米国の金融緩和の縮小、欧州の債務問題など、景気の下振れリスクが残っており、先行きは未だに不透明感があります。

このような状況のもと、当社グループは、前期に発売を開始したキャビン付ハイクリブームなどを中心に積極的な営業活動を展開するとともに、新たな海外販路の拡大を進めてまいりました。

これらの結果、国内では、4月からの消費税率引上げの影響などにより、ハイクリブームを中心に大型製品が増加したことにより、国内売上高は4,871百万円（前年同四半期比22.8%増）となりました。一方、海外では、海外経済の持ち直しや円安効果もあり、北米、欧州向けが増加したことなどにより海外売上高は1,463百万円（前年同四半期比46.1%増）となり、当第1四半期連結累計期間の売上高合計は6,334百万円（前年同四半期比27.5%増）となりました。

利益面では、売上高の増加に伴う物流費や販売費の増加はありましたが、生産性の向上により売上総利益率が改善したことなどにより、営業利益は82百万円（前年同四半期は365百万円の損失）、経常利益は59百万円（前年同四半期は323百万円の損失）、四半期純損失は15百万円（前年同四半期は275百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

農林業用機械は、国内では、大型製品を中心に積極的な営業活動を展開したことなどにより、高性能防除機が増加いたしました。一方、海外では、刈払機などの林業機械が増加した結果、国内外の農林業用機械の売上高合計は4,382百万円（前年同四半期比32.4%増）、営業利益は123百万円（前年同四半期は249百万円の損失）となりました。

工業用機械は、国内では、工業用ポンプが減少いたしました。一方、海外では、海外経済の持ち直しや円安効果もあり、北米、欧州向けの工業用ポンプが増加した結果、国内外の工業用機械の売上高合計は1,173百万円（前年同四半期比17.3%増）、営業利益は274百万円（前年同四半期比62.8%増）となりました。

その他の機械は、消防機械を主なものとしており、売上高は730百万円（前年同四半期比20.1%増）、営業損失は31百万円（前年同四半期は4百万円の利益）となりました。

不動産賃貸他の売上高は125百万円（前年同四半期比4.0%増）、営業利益は59百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は33,714百万円となり、前連結会計年度末より234百万円減少いたしました。これは、たな卸資産の増加（2,180百万円）、投資有価証券の増加（311百万円）はありましたが、現金及び預金の減少（815百万円）、受取手形及び売掛金の減少（1,969百万円）などによるものであります。

負債総額は19,955百万円となり、前連結会計年度末より266百万円減少いたしました。これは、短期借入金の増加（773百万円）、長期借入金の増加（282百万円）はありましたが、電子記録債務の減少（405百万円）、未払法人税等の減少（525百万円）、賞与引当金の減少（307百万円）などによるものであります。

純資産の合計は13,758百万円となり、前連結会計年度末より31百万円増加いたしました。これは、配当金の支払いなどにより利益剰余金が減少（212百万円）しましたが、その他有価証券評価差額金の増加（200百万円）、為替換算調整勘定の増加（44百万円）などによるものであります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、今後の事業環境などを見極める必要があるため、前回予想（平成25年11月14日）を修正いたしません。見直しが必要であると判断した時点で速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,562	2,747
受取手形及び売掛金	10,926	8,956
商品及び製品	5,686	7,423
仕掛品	336	561
原材料及び貯蔵品	1,406	1,625
その他	661	745
貸倒引当金	△11	△12
流動資産合計	22,568	22,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,614	3,619
土地	2,597	2,598
その他（純額）	1,644	1,722
有形固定資産合計	7,855	7,941
無形固定資産	48	54
投資その他の資産		
投資有価証券	2,809	3,121
その他	678	562
貸倒引当金	△12	△11
投資その他の資産合計	3,476	3,672
固定資産合計	11,380	11,667
資産合計	33,948	33,714

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,795	2,964
電子記録債務	5,818	5,413
短期借入金	2,142	2,915
1年内償還予定の社債	132	102
未払法人税等	609	83
賞与引当金	574	266
リコール損失引当金	37	20
その他	1,317	1,138
流動負債合計	13,426	12,904
固定負債		
社債	608	608
長期借入金	4,080	4,363
退職給付引当金	1,734	1,715
その他	372	363
固定負債合計	6,795	7,050
負債合計	20,221	19,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,651	4,651
資本剰余金	4,525	4,525
利益剰余金	4,105	3,893
自己株式	△152	△151
株主資本合計	13,129	12,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	642	842
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△45	△0
その他の包括利益累計額合計	597	840
純資産合計	13,726	13,758
負債純資産合計	33,948	33,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,967	6,334
売上原価	3,634	4,444
売上総利益	1,333	1,889
販売費及び一般管理費	1,698	1,807
営業利益又は営業損失(△)	△365	82
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	18	20
為替差益	92	39
その他	17	13
営業外収益合計	131	76
営業外費用		
支払利息	29	28
退職給付費用	40	40
その他	19	30
営業外費用合計	89	99
経常利益又は経常損失(△)	△323	59
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産処分損	0	6
特別損失合計	0	6
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△323	52
法人税等	△48	67
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△275	△15
四半期純損失(△)	△275	△15

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△275	△15
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	186	200
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	61	44
その他の包括利益合計	248	243
四半期包括利益	△27	228
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27	228

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,311	1,000	607	48	4,967	—	4,967
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	72	72	△72	—
計	3,311	1,000	607	120	5,040	△72	4,967
セグメント利益又は損失(△)	△249	168	4	59	△17	△348	△365

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,382	1,173	730	48	6,334	—	6,334
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	76	76	△76	—
計	4,382	1,173	730	125	6,411	△76	6,334
セグメント利益又は損失(△)	123	274	△31	59	425	△343	82

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。